

2016年10月11日

東ソー株式会社

## 研究棟新設および研究開発拠点の集約について

東ソーは、研究機能の効率化および技術シナジー強化によって技術開発を加速させるため、四日市事業所（三重県四日市市）に研究棟を新設するとともに研究開発拠点を集約することを決定しました。現在、南陽事業所（山口県周南市）と四日市事業所の2拠点体制となっている高分子材料研究所、および神奈川県横浜市にあるウレタン研究所を四日市事業所に集約します。概要につきましては下記のとおりです。

### 記

#### 1. 目的

当社は、中期経営計画において、研究開発の重点3分野「ライフサイエンス」「電子材料」「環境・エネルギー」の研究開発の加速を掲げています。このたびの施策は、その一環として、3地区に分散している高分子、ウレタン関連の研究を四日市事業所に集約、石油化学・ポリマー製品の研究開発拠点として、ポリマー関連技術の集約により研究開発機能を拡充し、さらなる効率化、技術シナジーの強化を図るものです。新拠点においては、顧客との共同開発を充実させるためのカスタマーラボ機能の強化、最新設備の導入、研究エリアの拡張などを行い、研究開発の加速、新製品の創出を目指します。

#### 2. 研究棟新設計画の概要

- |         |  |
|---------|--|
| (1) 建設地 | 当社 四日市事業所内   |
| (2) 投資額 | 約45億円  |
| (3) 建物  | 研究棟（地上6階 延床面積 7,000m <sup>2</sup> ）<br>加工棟（地上2階 延床面積 1,200m <sup>2</sup> ） |
| (4) 工期  | 2017年5月着工・2019年4月完成（予定）  |

### 3. 研究開発体制

集約後の研究開発拠点 (2019年8月～)		研究分野
◎スペシャリティ製品の研究開発拠点  南陽事業所 (山口県周南市)	有機材料研究所	有機化成品事業の強化、および情報・電子分野、環境関連分野での新規有機機能製品の開発
	無機材料研究所	高機能材料事業の強化、および電子、環境・エネルギー分野での新規無機機能製品の開発
◎石油化学・ポリマー製品の研究開発拠点  四日市事業所 (三重県四日市市)	ファンクショナルポリマー研究所	分子構造、機能設計などの技術を融合し、光学・電子・生体機能などを有する新規ポリマー材料の創出
	高分子材料研究所 ※南陽事業所の高分子材料研究所を集約	石油化学・ポリマー事業の強化、および触媒、重合、物性制御、配合・成形加工など高分子分野における基盤技術の構築
	ウレタン研究所 ※神奈川県横浜市から移転	ウレタン事業の強化、およびウレタン樹脂原料とシステムの開発により新規機能性ウレタン材料の創出
ウレタン研究所 (神奈川県横浜市)	2019年8月に閉鎖(予定)	
◎先端技術創出の拠点  東京研究センター (神奈川県綾瀬市)	ライフサイエンス研究所	新たな検査技術や医薬精製用分離剤など健康・医療分野の新材料・技術の創出
	アドバンストマテリアル研究所	エレクトロニクスおよびエネルギー関連の先端材料の研究開発

以上